

宮沖五丁目	西元和子	明神二丁目、新明神	河原 巖	小坂町	木村尚子	船木	久保田貴和
皆実一丁目	原 直行	明神二・三丁目、県営	最本正剛	〃	下門スミ子	北方	今本豊司
皆実一・二・三丁目	太田黒孝子	明神二・四・五丁目	沼能春恵	高坂町(許山、馬井谷、鹿群)	植田成三	〃	奥村邦子
皆実一・四丁目	神前輝美	宗郷一・二・三丁目	掛本廣太郎	高坂町(西・上・沖組)	先小山和子	〃	坂本千都子
皆実四丁目	常盤純子	宗郷二丁目	鎌田美恵子	高坂町(西下・下一・下二)	岡田清己	善入寺	平原 榮
皆実五丁目	常盤武司	宗郷三丁目	石本倫子	本市、七宝	宮田 巧	南方	貞重千代美
皆実五・六丁目	中島公子	宗郷四丁目、県営	中島秀志	七宝市営、県営、須賀の里	渡邊由美子	〃	福永ヨシエ
皆実六丁目	馬場久美	宗郷四・五丁目	大黒直巳	納所、納所ハイツ	椿野尚子	〃	田川佳代子
〃	夜船充伸	和田一丁目	本庄房恵	末広、片島、片島団地	水野清美	〃	切石中正則
主任児童委員	金元久美子	和田二丁目	河良輝之	ダイヤハイツ北	久保弘志	〃	神本昭二
〃	徳永恵美子	和田二・三丁目	金子温子	〃 南	井上晴夫	〃	林 眞智子
第6区		和田三丁目	平木義雄	釜山、生田、ヴェルディ	花田國男	主任児童委員	藤澤房子
西町(川西)、八坂町	中島和久	和田三丁目、雇用促進	延里明彦	末光、自由ヶ丘団地	花田義信	〃	見川登美子
西町	徳永育弘	貝野町	仁井本伸介	兩名、兩名団地	小寺美保子	第11区	
〃(大黒町)	木村政子	登町、沖浦町	湯浅益美	小原、久米田、あやめ団地	盛谷健次	神田北部	兼田忠則
〃(南部、梶新町)	田邊瑞恵	主任児童委員	久留本みどり	松江、松江団地	盛本恭子	〃	奥 孝文
西宮一丁目(法常寺)	岡本昭子	〃	田中美佐枝	惣定(上・中・下・団地)	谷口隆三	〃	上川弘治
西宮	尾野千津江	第8区		小泉町	砂原富夫	〃	東谷憲男
小浦・大畑	逸見祐次	久和喜	保上幹夫	〃	岡田恭弘	〃	新田衣津子
宮浦一丁目、宮浦北市営	南迫純子	宇和島(東)	中村真二	〃	木原理恵	神田南部	奥谷 貴
宮浦二丁目・三丁目東部	間 玉子	〃(西)	中山信弘	主任児童委員	垣内正幸	〃	今田澄子
宮浦三丁目中	大町紀美子	本町(東)	谷口敏弘	〃	澤田征治	〃	吉川妙子
宮浦三丁目	金本毬子	〃(中)	森谷哲子	第10区		〃	溝上京子
宮浦四丁目	藤井佐智子	〃(西)	宮下香世子	本郷	加納武志	〃	中村純典
宮浦中部	松森隆則	本能地	新島雅美	〃	山本悦子	〃	今川澄子
宮浦五丁目(中央)	松本善子	奥三	木之下和義	〃	築島正彦	大草	高橋正史
宮浦六丁目(東部)	柚木博夫	渡瀬	香田信恵	〃	山原淑恵	〃	高田愛子
〃(西部)	山内俊作	久津	岡寄秀史	〃	木原 勲	〃	高下宏子
頼兼町、宮浦五丁目東部	平櫛恵子	須波町1区	中本陽子	〃	高田康良	〃	平野邦枝
西野(小西口、新大西)	佐藤由紀子	〃2区	岸田照美	〃	上谷敏男	〃	田川沢子
〃(小西)	川元ハヤミ	須波西	安部博司	〃	新田淳子	〃	岡田文江
〃(大西)	寶子丸嘉一	須波ハイツ	小田嘉昭	〃	東野徳彦	和木	宮田希子
〃(小西住宅)	西村喜美江	〃	江曾末光	〃	渡邊 忠	〃	正田恵美子
〃(梅林東)	天坪義照	〃	戸坂博之	〃	平田繁美	〃	神塙澄枝
〃(梅林西)	井元優美子	〃	永井ミエコ	〃	山田義信	椹梨	高村登志子
主任児童委員	渡邊善信	主任児童委員	藤森満哉	〃	本山真由美	〃	満汐良法
〃	赤瀬宜子	〃	末国美鈴	船木	山田紀子	〃	和氣泰臣
第7区		第9区		〃	中西正友	〃	沼田賢二
田野浦一・二・三丁目、青葉台	大森文子	新倉	中元満子	〃	平野 明	主任児童委員	岩川孝子
田野浦一・二丁目、市営	佐藤光子	沼田	山田美代子	〃	味木文司	〃	大浦映文子
明神一丁目	福原俊朗	長谷	有田治子	〃	石田ひとみ		





地域福祉の推進へ

12月1日、本郷生涯学習センターで、民生委員児童委員への感謝状の贈呈式と委嘱状の伝達式を行いました。

感謝状は、9年以上民生委員児童委員を務め、今回退任する43人に贈られました。

続いて、厚生労働大臣から委嘱された、民生委員児童委員252人へ委嘱状の伝達式を行いました。

任期は、平成22年12月1日～平成25年11月30日の3年間です。



▲代表して委嘱状を受け取る紙谷謹二さん

民生委員児童委員は、皆さんの相談相手です。地域の子どもや高齢者などを支援するボランティアとして、11地区に分かれて活動をしています。日常生活での悩みごとや子育て、介護に関することなど気軽に相談してください。

民生委員児童委員連合協議会役員(敬称略)

会長 大林光夫

副会長 正田信子、下見博子、寶子丸嘉一、久保田貴和

各地区の民生委員児童委員の皆さんを紹介します。(敬称略) ※平成22年12月1日現在。

第1区

福地	福地康子	中之町上	吉田 稔	泉	正 富子	本町三丁目	石田井子
内畠	向井哲男	中之町中	岡本章督	和草	宗行初代	本町三丁目(川東東部)	加嶋順子
赤石	廣川喜代子	〃	大下泰昭	〃	末盛征壯	城町(東部)	大坪一夫
糸崎、下木原	野村利子	〃	山内敏枝	〃	山田 洋	〃(南西部)	長井 進
松浜東	今田妙子	〃	土居八重子	羽倉	平野美津代	港町	大原哲子
松浜西	河合求子	〃	北藤英一	〃	堀 憲昭	〃(新港)	高下畑富男
天神東	羽井佐民子	〃	清光 彰	坂井原	國廣敏昭	〃(御作事)	佐伯礼子
天神西	橘和加枝	中之町下	大林丈治	〃	組地真由美	〃(西港)	内藤紀代子
正分、是国	横山重夫	〃	大林光夫	〃	豊田尚子	〃(船屋)	金原禮子
福寄	上野淳子	〃	熊本克恵	中野、小林	木山實男	佐木	内田尚武
糸崎駅前	久保 誠	〃	島田道子	中野、土取	野々部恵子	佐木、小佐木	白須清美
〃	山田義夫	主任児童委員	兼田義和	主任児童委員	伊藤裕江	須ノ上	河野邦子
糸崎駅西	岡本英明	〃	小川敬子	〃	門田京子	向田	谷本富喜枝
〃	上田依子	第3区	小西政藏	旭町一丁目	馬屋原啓司	主任児童委員	伊藤直子
時貞、広友	横山 稔	日向、陰地、山口	貸谷稔彦	旭町二丁目	多森裕喜子	〃	常盤周作
〃	信實洋介	野串、宮内、篝	千坊可奈男	古浜	宮本 勇	第5区	平賀潤志
寿、古城通り	上田次雄	美生、屋中	只佐貴美枝	東町東	山本みさ	円一、宮沖	服部邦秀
主任児童委員	内畠志保子	本庄	信藤延夫	東町西、浜之丁南	小坂修子	円一町五丁目、県営	外川陽子
〃	田坂高志	勘原	奥 里美	東町南、県営住宅	竹本 修	宮沖、円一	下見博子
第2区		吉田	法堂陽子	東町北、浜之丁北	吉村絹枝	宮沖一丁目	田中典江
深町	紙谷謹二	江木	宇城博行	館町、泰雲寺	吉岡 忠	宮沖二丁目	土手多美枝
〃	寺田美恵	〃	西迫昭治	館町	正田 稔	宮沖三丁目	沖藤詳造
中之町上	來山幸子	下津	田澤英子	本町一丁目	平橋達示	宮沖四丁目	夜舩行伸
〃	吉村景子	〃	赤野悦子	本町二丁目	正田信子	宮沖五丁目	熊谷ますみ





市長と語るまちづくり座談会を開催しました

11月26日～12月22日にかけて、市内4会場で、市長と語るまちづくり座談会を開催しました。

この座談会では、これまでの市政懇談会に変わり、各地域でさまざまなまちづくり活動を行っている市民の皆さんと、市長が市政に関わるテーマについて一緒に考え、直接意見交換を行いました。

座談会のテーマは、出席者から事前にアンケートを取り、関心の高いものを会場ごとに選びました。

11月29日、中央公民館で行われた座談会には、三原地域の出席者10人と、市長、副市長と教育長、関係部長、さらに傍聴者約40人が参加。青少年が健やかに育つ教育づくりと、食育と地産地消の推進をテーマに、出席者からは「自分にもできることとして、地域で自分から積極的にあいさつをしている。そのことで大人も子どももコミュニケーションが取れる」、「学校給

食のレシピ集で家庭の会話が広がった」といった意見や、「看板を増やすなどタコのまち三原をもっと宣伝してほしい」、「学校給食に市内の食材を使用したメニューをもっと取り入れたらいいのでは」などさまざまな提案も出され、活発な意見交換が行われました。

今回の座談会で出された主な意見や提案は、広報みはら2月号でお知らせする予定です。



▲活発な意見交換が行われました

問い合わせ先 政策企画課 (☎0848⑥76011 ①0848⑥76199)

県内初! 船木氏庭園が国の登録記念物へ

国の文化審議会は、11月19日、船木氏庭園(西町二丁目)を国の登録記念物に登録するよう、文部科学大臣に意見を述べました。正式に登録されると、県内で初の登録記念物となります。

この庭園は、酒造業などで栄えた川口家の別邸として江戸時代末期に建てられ、昭和2年から船木家の所有となりました。

豊かな自然と茶室などの建造物からなり、特徴として、背面を石垣で積み上げた高さ3mもの築山と、庭園内を回遊できる高さ10~13cmの飛び石があります。これらの点が、三原地方の庭園文化の一端を示す事例として意義深いと評価されました。



▲自然あふれる船木氏庭園

問い合わせ先 生涯学習課 (☎0848④2137 ①0848④0137)

小早川隆景画像を市重要文化財に指定

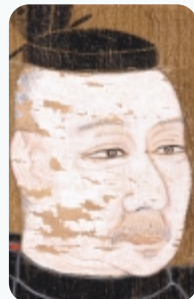
11月30日、宗光寺(本町三丁目)で新たに発見された小早川隆景画像1紙を、市の重要文化財に指定しました。

画像は肖像画で、縦49cm、横54.3cm、材質は紙です。大部分は破損していますが、顔の表情や右手に持つ扇などが細かく描かれています。

隆景画像は、隆景が亡くなる3年前に描かれた、米山寺(沼田東町)所蔵の画像(国重要文化財・絹本著色小早川隆景像)が有名です。

今回発見された画像は、米山寺のものとは比べ、材質に違いがあるものの、構図や持ち物、服装がよく似ていて、同時期に描かれたものと推測されます。

同じ原画を写し取ったか、どちらかが基になって写された可能性もあり、画像の成り立ちを知る上で、大変貴重な資料です。



▲新たに発見された隆景画像(上)と米山寺所蔵の画像